

秋季東北地区高校野球あす開幕 光星、久慈 センバツ目指す

第77回秋季東北地区高校野球大会は12日、福島県で開幕する。青森県からは第1代表の青森山田、第2代表の八学光星、第3代表の弘学聖愛が出場。岩手県勢では、第3代表として久慈が出場する。決勝は19日。来春の選抜大会（センバツ）を目指し、東北6県の代表18校がしのぎを削る。

2年連続のセンバツ出場を狙う八学光星は、県大会で久保諒之輔が3戦連続本塁打を放つなど、打線をけん引した。投手陣は5投手が登板。最

も多い17回を投げて4失点だった1年生の北口晃大や柴田煌輝の出場、来春のセンバツ出場を目指す。弘学聖愛はエース芹川大雅らを中心と

した堅い守りが光る。得意とする足を絡めた攻撃で上位進出を狙う。久慈は県大会3位決定戦で延長タイブレークの末にサヨナラ勝ちした勢いを活かせるか。

初戦敗退に終わった昨年の悔しさもぶつけた。主戦宇部奨人は投手陣を力強く引っ張る。打線では4番和野虎牙が勝負強い。大会はヨークいわきスタジアム（いわき市）と県営あづま球場（福島市）で実施する。

久慈は12日の1回戦で学法石川（福島③）と対戦。青森山田は古川学園（宮城②）と、弘学聖愛は仙台育英（宮城①）とそれぞれ同日の2回戦で激突する。八学光星の初戦は13日、2回戦で日大山形（山形②）と戦う。優勝校は11月20日に開幕する明治神宮大会への出場権を獲得する。（千葉達也）

3年連続の甲子園を目指す青森山田は、今夏の甲子園4強入りに貢献した2年生が多くおり、投打ともに充実している。県大会では、5試合で計62安打4本塁打し、チーム打率は4割4分9厘と強力。投手陣も力があり、いずれの試合も3投手の継投で勝ち上がった。今大会は連覇も懸

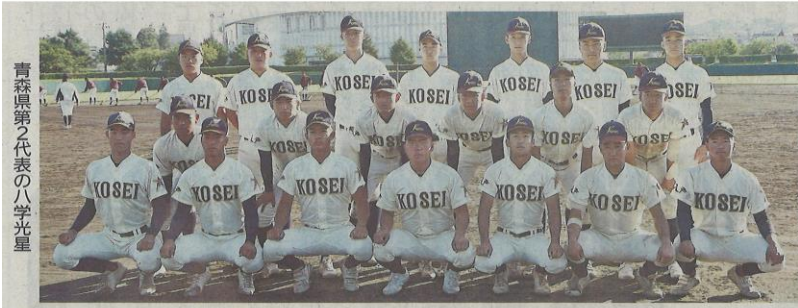
かる。

「県大会決勝では確実に取れないアウトを取れなかったり、狙い球を絞り切れなかったりと、攻守に課題が残った。修正し、東北大会優勝、明治神宮大会出場、来春のセンバツ出場を目指していく」

「県大会決勝では確実に取れないアウトを取れなかったり、狙い球を絞り切れなかったりと、攻守に課題が残った。修正し、東北大会優勝、明治神宮大会出場、来春のセンバツ出場を目指していく」

「県大会決勝では確実に取れないアウトを取れなかったり、狙い球を絞り切れなかったりと、攻守に課題が残った。修正し、東北大会優勝、明治神宮大会出場、来春のセンバツ出場を目指していく」

「県大会決勝では確実に取れないアウトを取れなかったり、狙い球を絞り切れなかったりと、攻守に課題が残った。修正し、東北大会優勝、明治神宮大会出場、来春のセンバツ出場を目指していく」



青森県第2代表の八学光星

泥臭く勝ちに行く

八学光星・仲井宗基監督
「県大会は改めて力が足りていないと感じた。ただ、センバツへのチャンスはあるので修正してチャレンジしたい。ここ一番で出るミスや攻撃し切れない原因を探り、投手を再調整しながら泥臭く勝ちに行く」

攻守の課題修正

八学光星・山上春人主将
「県大会決勝では確実に取れないアウトを取れなかったり、狙い球を絞り切れなかったりと、攻守に課題が残った。修正し、東北大会優勝、明治神宮大会出場、来春のセンバツ出場を目指していく」

| 高校 | 試合数 | 打数 | 安打 | 長打 | | | 打率 | 打点 | 三振 | 四死球 | 犠打 | 犠飛 | 盗塁 | 失策 | 併殺 | 残塁 | 得点 | 失点 |
|------|-----|-----|----|----|---|----|------|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 本 | 三 | 二 | | | | | | | | | | | | |
| 青森山田 | 5 | 138 | 62 | 4 | 2 | 12 | .449 | 40 | 16 | 16 | 18 | 7 | 5 | 4 | 30 | 45 | 7 | |
| 八学光星 | 5 | 147 | 44 | 4 | 1 | 5 | .299 | 28 | 23 | 21 | 14 | 6 | 4 | 3 | 36 | 29 | 16 | |
| 弘学聖愛 | 5 | 141 | 37 | 0 | 1 | 9 | .262 | 21 | 13 | 20 | 13 | 12 | 3 | 3 | 29 | 24 | 6 | |
| 久慈 | 4 | 126 | 36 | 0 | 2 | 2 | .286 | 13 | 25 | 14 | 10 | 3 | 6 | 4 | 32 | 17 | 8 | |